

2020年、市民と野党の共同で政治を変えよう

いわて民報

2020.1.1
NO.2084

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

日本共産党
磐田市委員会
磐田市加茂川通り
6023-1
TEL35-1013
FAX35-2811

生活相談所
ねづ康広
大藤笠梅 167-1
38-0708
高梨としひろ
国府台 648-1
32-2319

2020年の幕開け

希望ある政治へ踏み出す年に

新しい年の幕開けです。日頃のご支援に感謝申し上げます。

昨年、森友、加計学園問題、そして、「桜を見る会」など、目に余る安倍晋三政権の国政の私物化に国民の怒りがますます大きくなりました。「安倍改憲」阻止、消費税5%への減税、沖縄米軍新基地建設反対など、市民と野党の共闘を一層強め、安倍政権を打倒し、希望の持てる新しい政治の実現へ、歴史的一步を踏み出そうではありませんか。

市政では、4カ所の子育て支援センターの廃止に反対するお母さんたちの声が市長を動かし、1年間の凍結になりました。子育て支援の充実が求められるなか、存続を含めた対応をすべきだと考えます。市民の声に耳を傾けて暮らしやすい磐田をつくるため、引き続きがんばります。今年もよろしくお願ひいたします。

2020年1月

日本共産党磐田市委員会

ねづ康広 市議会議員

高梨としひろ市議会議員

台風19号で被災した

鮫島海岸周辺の防潮堤を視察

日本共産党磐田市委員会（ねづ康広、高梨としひろ市議）は12月25日、台風で被災した鮫島海岸周辺の防潮堤の状況を市の道路河川課、農林水産課の案内で視察しました。



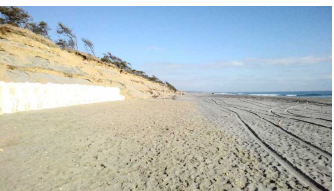
鮫島海岸の防潮堤を視察する党市議団

鮫島海岸の階段の南側は、大きく崩れ東側も高潮により広い範囲で崩れていました。崩れた防潮堤は、夏までに応急処置として仮の防潮堤工事を行い、その後本格的に工事を行うべく予定とのことでした。海岸の侵食対策としては、県が現在ある離岸堤を再配置し、浸食を防ぐ対策を行う計画であるとのことでした。

今後計画されている津波対策の防潮堤工事と海岸浸食対策と連携して行うことが必要と視察をして感じました。



鮫島海岸西側の被災状況



鮫島海岸東側の被災状況

防潮堤対策を議会で質問

11月市議会が高梨としひろ議員が行った一般質問の要旨と渡部修市長の答弁要旨は次のとおりです（一部再録）。



高梨としひろ
市議会議員

鮫島海岸の防潮堤対策の強化を

高梨質問 台風19号による高波の影響で、鮫島海岸周辺の保安林を保護する防潮堤が約300メートルにわたって浸食され、海岸に続く階段が大きく削り取られ現在は立入り禁止になっている。被災の規模、今後の復旧の見通しについて伺う。



高波により削られた防潮堤の階段

市長答弁 台風19号による鮫島海岸防潮堤の被災区間は316.2メートルで、昨年の台風24号、今年の台風15号の被災箇所と合わせて476.2メートルが損壊している。本年12月中に国の災害査定を受ける予定である。早期復旧に向けて対応していると伺っている。

高梨質問 高波による海岸の緊急的、長期的な侵食対策が必要と考える。市の考えと遠州灘沿岸侵食対策検討委員会でのどのような検討がなされているのかを伺う。

市長答弁 侵食対策は重要課題と考え、遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会により国や県へ強く要望している。遠州灘沿岸侵食対策検討委員会では、効果が期待できる侵食対策の検討結果を海岸管理者である県へ提言している。本年度は検討結果により離岸堤の再配置を進めていくと伺っている。

高梨質問 竜洋地域から福田地域までの防潮堤整備事業と海岸の侵食対策をどのように考えるのか、見解を伺う。

市長答弁 防潮堤整備区間のうち特に侵食が著しい箇所につきましては今後の工事に影響が出ることも考えられるため、県が実施する海岸侵食対策事業を注視しながら連携を図っていく。

日本共産党新春のつどい

2020年2月1日(土)

午後7時から

iプラザ交流室

弁士 しまづ幸広 前衆議院議員

あいさつ 市議会議員

ねづ康広

高梨としひろ

主催 日本共産党磐田市委員会

